

宮崎県こども未来応援プラン(案)の概要

はじめに

■ 計画策定の趣旨

- ・国におけるこども政策強化の動き
(こども基本法・こども大綱)
- ・少子化に歯止めがかかる現状や深刻かつ複雑化する課題への対応

■ 計画の性格

- ・県のこども・子育てに関する総合的な計画として「こども基本法」、「子ども・若者育成支援推進法」、「こどもの貧困の解消に向けた対策の推進に関する法律」に基づく県計画など7つの関連計画を一体的に策定

■ 計画の期間

令和7年度～令和11年度(5年間)

第3章 計画の基本的考え方

■ 基本理念

すべてのこども・若者の夢や希望を応援し、幸せの輪が広がる宮崎づくり

第4章 各種施策の推進

(ライフステージを通した施策)

1 こども達の権利擁護・意見の反映

- こども・若者の権利擁護と社会参画・意見の反映

(ライフステージ別の施策)

4 安心してこどもを生み育てることができる環境づくり(こどもの誕生前から幼児期まで)

- 妊娠前から幼児期までの
切れ目のない保健・医療の確保
- 質の高い幼児教育・保育の提供

(子育て当事者等への施策)

7 子育て支援の充実

- 子育てや教育に関する経済的負担の軽減
- 子育て世帯のニーズに応じた支援、
家庭教育支援の推進
- ひとり親家庭への支援
- 子育て支援情報の発信、こども政策DXの推進

第1章 こども・若者や子育て家庭を取り巻く状況

■ 少子化の現状

- ・合計特殊出生率: 1.73(R元) → 1.49(R5)
- ・出生数: 8,043人(R元) → 6,502人(R5)
- ・婚姻数: 4,633組(R元) → 3,592組(R5)
- ・50歳時未婚割合(生涯未婚率)
 - 男性: 22.1%(H27) → 24.6%(R2)
 - 女性: 14.1%(H27) → 16.8%(R2)
- ・平均初婚年齢
 - 男性: 28.4歳(H2) → 30.0歳(R5)
 - 女性: 26.1歳(H2) → 29.1歳(R5)
- ・いざれ結婚したい未婚者の割合: 79.8%
- ・結婚に不安や負担を感じる未婚者の割合: 77.2%
- ・不安や負担を感じる内容(最多項目):
 - やりたいことの実現が制約されてしまう(45.1%)

■ 子育ての現状

- ・子育てに不安や負担を感じる割合: 69.9%
- ・不安や負担を感じる内容(最多項目):
 - 子育てにお金がかかる(66.3%)
- ・行政に求める施策(最多項目):
 - 保育所等の費用負担の軽減(59.9%)
- ・教育・保育施設の従事者数:
 - 7,473人(R元) → 7,296人(R6)
- ・男性育児休業取得率:
 - 10.2%(R元年度) → 36.4%(R5年度)

■ こどもを取り巻く現状

- ・児童虐待相談対応件数:
 - 1,953件(R元年度) → 1,791件(R5年度)
- ・生活保護世帯の高等学校等進学率: 88.1%
(一般世帯: 98.5%)(R5年度)

第2章 「子ども・若者プロジェクト」の推進

喫緊の課題である「少子化対策」に
令和8年度まで短期・集中的に取り組む

「子ども・若者プロジェクト」

- 出逢い・結婚の希望を叶える
⇒出逢い・結婚支援の充実・強化
- 子どもがほしい人の希望を叶える
⇒第2子以降の希望を後押しする施策等の展開
- 安心して子育てをすることができる
教育環境をつくる
⇒様々な環境の子どもを支え、夢や希望を後押しする教育環境の整備



女性・若者の活躍・定着促進

③困難な環境にあるこども・若者の支援

④若者にとって魅力ある宮崎づくり

⑤国や市町村、関係団体との連携、県民・企業との協調促進

■ 成果指標

5つの重点成果指標及び33の個別成果指標を設定

重点成果指標	現状値	目標値
将来の夢や目標に向かって頑張っていると思うこどもの割合	68.0%	80.0%
安心してこどもを生むことができ、子育てを楽しいと感じる県だと思う人の割合	73.9%	80.0%
合計特殊出生率	1.49	1.8台
男性の育児休業取得率	36.4%	76.0%
生活保護世帯のこどもの高等学校等進学率	88.1%	94.0%

第5章 幼児教育・保育等の提供体制

【地域子ども・子育て支援事業支援計画】

※幼児教育・保育に係る量の見込みと提供体制の確保など、子ども・子育て支援法に基づく項目を記載

第6章 計画の推進方針

計画の推進体制、進捗管理について記載